



# 明日の青梅のために！！

## 青梅市議会議員 No29

# 島崎 実 活動報告

令和4年10月25日発行

島崎 実 事務所  
〒198-0063  
青梅市梅郷6-1511  
TEL 0428-76-0358  
E-Mail info@minoru-kai.com

厳しい残暑も終わり、さすがに10月の声を聴きますと、すっかり秋の景色です。安心はできませんが、新型コロナの感染者もピークを打った感があります。屋外ではマスクを外す動きも出てきています。10月1日には、3年ぶりに市主催の敬老会が開催されました。また梅郷地区では感染対策を実施し、規模を縮小するなどして、運動会が開催されました。以前の日常を取り戻すには、もう少しの我慢かと思えます。引き続き気を緩めることなく、感染予防を徹底し、新型コロナに打ち勝ちましょう。

◎総合病院の建て替え工事は若干の遅れはありますが、順調に進み、鉄骨が8階まで組み上がりました。工事区域内に、ナースステーション・病室等のモデルルームが作られ、9月16日に視察しました。



新病院の全貌



6階から8階を望む



モデルルーム個室



4人部屋

### ◎「明星大学青梅校キャンパス跡地」について

明星大学青梅校の跡地については、大学側からの購入依頼に対し、購入すべきかどうか？どのように利用すべきか？を慎重に検討していますが、8月8日私の所属する総務企画委員会に市側から新たな提案がなされました。提案は土地利用としての3案で、①案は「道の駅」を中核に宿泊施設・キャンプ場等を整備するもの。②案は「半官半民」の公共利用とデータセンター。③案は「再生エネルギー、農業振興」の拠点とするものです。但し、3案ともに具体化には様々な課題があり、用途変更を伴うものもあり、都市計画の変更には時間がかかるとともに、国や都の了承・認定等が必要となります。

この提案に対し私は各案の問題点を指摘した上で、次のように質疑・提案しました。

- ①購入ありきではなく、交渉期限を設けず、時間をかけて慎重に検討すること。
- ②活用方法について、明星大学との信頼関係を基に、大学や東京都・関係機関等と情報交換を行い、よく連携して、拙速な結論は出さないこと。
- ③校舎についての活用方法を検討するためには、分割購入も1案ではないか？
- ④スポーツ施設についての維持管理は市が行うこととし、賃貸借等による方法も検討できないか？
- ⑤そして何より重要なのは、全体のビジョンだと思う。市職員の努力は理解するが限界がある。コンサルタントを入れて検討を進めるべきと考えるがどうか？

☆私の質疑・提案は以上の通りです。なお、西の風新聞に、私の発言と一部事実と異なる報道がなされましたが、後日訂正記事が掲載されました。



校舎から市内を望む



噴水と校舎



食堂



体育館

### 「9月議会報告」

1, 9月議会は、6日～8日の一般質問から始まり9・12日の常任委員会、15日に全員協議会と東青梅1丁目地内特別委員会、16日に病院建替特別委員会と新型コロナ対策特別委員会、21・22・26日に決算委員会を開き、最終日29日に市長提出議案全てを可決して終了しました。なお、新型コロナを考慮し、一般質問の質問時間を40分から30分に、決算審査は4日間予定を3日間に短縮して実施しました。

## 2, 令和3年度決算、「一般会計の概要」

- (1) 歳入は前年度比9.3%減の620億円余、歳出は同12.0%減の586億円余となりました。
- (2) 歳入歳出差引残高である形式収支は34億65百万円余、翌年度繰越金を除いた実質収支は28億72百万円余のプラス。実質収支から前年度の実質収支を除いた単年度収支は、12億88百万円の黒字です。
- (3) 収支が改善した要因は、モーターボートが好調で、競争事業会計から一般会計へ26億39百万円余の繰出しがあった事。また、コロナ対策として国からこれまでに50億円を超える地方創生臨時交付金が入り、様々な事業に充当できている事があります。一方、市税は前年比1.6%減の194億円余です。
- (4) 市の借金である市債残高は、13億16百万円余減の542億16百万円余。一方、貯金である各種基金の総額は31億23百万円余増の119億53百万円余。内、財政調整基金は60億6百万円余です。

## 3, 一般質問

今回の一般質問は①ケミコン跡地に建設が予定される新市民ホールについて、②青梅市の空き家対策についての2項目の質問をしました。新市民ホールについては、音響等の良い専門家も演奏可能な良質なホールを求め質疑して来ましたが、市民参加の懇談会を経て、複合施設としてその方向性が出て来ました。空き家対策は市の重要課題と認識しており、他の自治体の施策も参考に、現状と今後の対応策を質しました。

### 「ケミコン跡地に建設が予定される新市民ホールについて」

(私の質問)	(市長答弁)
(1) コロナの影響で懇談会開催日程が遅れたと思います。当初計画と実施実績、具体的な会議の流れ、建設計画の遅れについて伺います。	(1) 今年度までに6回開催し、活発な審議を頂きました。建設計画は令和9年度末の竣工が、数か月程遅れる見込みです。
(2) 中途半端なホールなら、作らない方が良い。30～50年先まで残る、特色のある青梅にしかないと言われる立派なものを作るべきと考えますが、どうか？伺います。	(2) 懇談会の中での意見にあるように、建設する以上はある程度の費用をかけて、将来を担う子供達にも素晴らしい施設として、残していく必要があると考えています。
(3) 懇談会で、平土間式と階段式ホールの併設案が出て来ました。この案を是非進めて欲しいと思いますが？市長の見解を伺います。	(3) 双方のメリット・デメリット、複合施設の整備を総合的に判断し、素晴らしい施設となるよう、決断してまいります。
(4) 併設案を具体化する際、更なる市民参加を求める必要性について拡大懇談会も考えられますが、市民意見を問う方針を伺います。	(4) 今後、整備基本計画の策定から、設計を進めていく段階においても、市民からの意見聴取を考えてまいります。
(5) 複合施設の場合、賑わいの創設がホールの稼働率の向上に繋がると考えますが、どのようにこれを実現していくか伺います。	(5) コンベンション機能を考慮した多目的スペースを併設することで、施設全体の稼働率の向上が見込まれると想定されます。

### 「青梅市の空き家対策について」

(私の質問)	(市長答弁)
(1) 市の空き家率は、国の統計調査では11.9%、市の独自調査では2.1%、実態はどうか伺います。	(1) 調査方法の違いに加え、空き家の分類が異なるため、市の調査が、より実態に近いものと捉えております。
(2) 市の空き家判定で、空き家1,010戸の内、110戸が不良、内30件が周囲に悪影響を及ぼしかねないがありますが、どのような状況なのか？また、所有者にどのような指導を行っているのか伺います。	(2) 外壁の下地が、剥離や破損により露出しているようなものを不良と判定。近隣に悪影響を与えている空き家等については、所有者に具体的な措置内容を通知し、迅速対応を工夫しております。
(3) 空き家バンクへの登録が、進まない要因は何か？民間の不動産事業者との連携を更に深めるべきではないか伺います。	(3) 周知不足が考えられます。空き家バンクの広報を強化し、協力を頂いている住宅関連事業団体との新たな取組も開始しています。
(4) 尼崎市等関西の自治体では、管理の悪い・放置空き家には、固定資産税の優遇措置に例外を設け、税を重くする動きがあります。これらの動向をどのように捉えているか伺います。	(4) 住宅用地特例の対象見直しを進めている自治体のあることは、承知しています。実施に際しては、よりの確で公平な課税となるよう留意するなどの課題があると考えております。
(5) 全ての施策を総合的に運用していく必要があります。空き家の発生を少しでも減らし、市の負担を軽減して行くための今後の対応策を示されたい。	(5) 外部委員で構成する協議会において意見をいただき、「空き家等対策計画」に位置付けられた各事業を確実に実施してまいります。